

4章 病院整備構想案
全面移転案

項目	立地	運動公園全面移転案		千駄堀全面移転案				紙敷全面移転案		高塚新田全面移転案	
		(構想1) 運動公園：超急性期病院 600 床 高塚新田：日常支援病院 200 床		(構想2) 千 駄 堀：超急性期病院 600 床 高塚新田：日常支援病院 200 床		(構想3) 千駄堀：超急性期病院 600 床 上本郷：日常支援病院 200 床		(構想4) 紙 敷：超急性期病院 600 床 高塚新田：日常支援病院 200 床		(構想5) 高塚新田：超急性期病院 600 床 上 本 郷：日常支援病院 200 床	
整備内容		1) 既存運動施設を解体 2) 「超急性期病院(600床)」を運動公園敷地内に建設 3) 「日常支援病院(200床)」を高塚新田敷地内に建設 4) 運動施設を建設する代替地を確保 5) 代替地に運動施設等を建設		1) 千駄堀に建設用地を確保 2) 「超急性期病院(600床)」を千駄堀敷地内に建設 3) 「日常支援病院(200床)」を高塚新田敷地内に建設		1) 千駄堀に建設用地を確保 2) 「超急性期病院(600床)」を千駄堀敷地内に建設 3) 「日常支援病院(200床)」を上本郷敷地内の既存1号館の解体及び2～5号館を改修して整備		1) 「超急性期病院(600床)」を紙敷66街区敷地内に建設 2) 「日常支援病院(200床)」を高塚新田敷地内に建設		1) 「超急性期病院(600床)」を高塚新田敷地内に建設 2) 「日常支援病院(200床)」を上本郷敷地内の既存1号館の解体及び2～5号館を改修して整備	
病院開院後の整備		①現市立病院既存1号館を解体 (現市立病院の跡地利用については要検討) ②既存東松戸病院施設を解体し、敷地内に駐車場(新規患者用等)を整備		①現市立病院既存1号館を解体 (現市立病院の跡地利用については要検討) ②既存東松戸病院施設を解体し、敷地内に駐車場(新規患者用等)を整備		①現東松戸病院の既存建物及び土地の取り扱いについては要検討		①「超急性期病院」(紙敷66街区)用の附属施設の建設(保育所、看護師寮等) ②現市立病院既存1号館を解体 (現市立病院の跡地利用については要検討) ③既存東松戸病院施設を解体し、敷地内に駐車場(新規患者用等)を整備		①「超急性期病院」(高塚新田)用の附属施設の建設(保育所、看護師寮等) ②既存東松戸病院施設を解体し、敷地内に駐車場(新規患者用等)を整備	
概算総事業費 〔百万円〕		運動公園	高塚新田	千 駄 堀	高塚新田	千 駄 堀	上本郷	紙敷	高塚新田	高塚新田	上本郷
	委託費	578	209	646	209	646	113	338	209	589	113
	用地費	—	—	2,965	—	2,965	—	2,755	—	—	—
	代替用地費	2,575	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	既存施設解体費	171	400	—	400	—	建設費に含む	—	400	400	建設費に含む
	代替施設整備費	2,535	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	埋蔵文化財調査費	—	—	120	—	120	—	—	—	—	—
	建設費	13,500	4,528	13,500	4,528	13,500	2,489	15,480	4,528	13,757	2,489
	外構整備費	177	200	1,885	200	1,885	81	建設費に含む	200	200	81
	ライフライン負担金	210	—	210	—	210	—	210	—	—	—
	その他	768	383	768	383	768	396	768	383	773	396
小計	20,514	5,720	20,094	5,720	20,094	3,079	19,551	5,720	15,719	3,079	
		26,234		25,814		23,173		25,271		18,798	
1床当たりの面積 (㎡/床)	超急性期	運動公園：75㎡/床		千 駄 堀：75㎡/床		千 駄 堀：75㎡/床		紙 敷：75㎡/床		高塚新田：75㎡/床	
	日常支援	高塚新田：75㎡/床		高塚新田：75㎡/床		上 本 郷：90㎡/床		高塚新田：75㎡/床		上 本 郷：90㎡/床	
期間	工事着手までの期間	3年4ヶ月(40ヶ月) + α + β α：代替用地確保期間 β：代替施設整備期間		3年4ヶ月(40ヶ月) + α α：用地確保期間		3年4ヶ月(40ヶ月) + α α：用地確保期間		1年2ヶ月(14ヶ月)		3年4ヶ月(40ヶ月)	
	工事着手から開院までの期間	2年6ヶ月(30ヶ月)		3年1ヶ月(37ヶ月)		3年1ヶ月(37ヶ月)		2年3ヶ月(27ヶ月)		2年4ヶ月(28ヶ月)	

※概算総事業費内には医療機器等の費用は含まれません。

※委託費には基本計画、地質調査、基本設計・実施設計、工事監理費が含まれます。(紙敷全面移転案については、実施設計の一部及び工事費監理費が含まれます。)

※運動公園及び千駄堀の用地費については、面積・利便性などの観点から選定したもので、その価格は所有権者等との協議を経たものではありません。

※日常支援病院の1床当たりの面積には健診部門面積を含みません。

※期間は、「超急性期病院」が開院するまでの期間を示します。

※現市立病院及び現東松戸病院の建物について、解体または病院施設として使用しなくなった時点で、企業債の一括償還が別途発生します。また、国・県の補助金についても返還が見込まれます。

※総事業費の低減においては、投資額を設定したプロポーザルなどにより実施する方法もあります。

※工事期間中は松戸市立病院および東松戸病院の診療は継続するが、移転期間を含む一定期間において多少の診療制限が行われることが予想されます。

投資規模を150億円程度に抑えた案

立地	上本郷・高塚新田案				上本郷・千駄堀案		
	(構想6) 上本郷：超急性期病院 450床 高塚新田：日常支援病院 250床		(構想7) 高塚新田：超急性期病院 450床 上本郷：日常支援病院 200床		(構想8) 千駄堀：超急性期病院 450床 上本郷：日常支援病院 200床		
整備内容	1) (仮)「超急性期病院」を高塚新田敷地内に建設 2) 市立病院の一部機能を高塚新田の(仮)「超急性期病院」へ一時移転 3) 上本郷敷地内において、既存1号館を解体し、新1号館(150床)を建設。既存2～5号館を改修する「超急性期病院(450床)」 4) 高塚新田へ一時移転していた市立病院の一部機能を上本郷の「超急性期病院(450床)」へ再移転 5) 東松戸病院の機能を高塚新田敷地内の新棟へ移転「日常支援病院(250床)」として開院		1)「超急性期病院(450床)」を高塚新田敷地内に建設 2)「日常支援病院(200床)」を上本郷敷地内の既存1号館の解体及び2～5号館を改修して整備		1)千駄堀に建設用地を確保 2)「超急性期病院(450床)」を千駄堀敷地内に建設 3)「日常支援病院(200床)」を上本郷敷地内の既存1号館の解体及び2～5号館を改修して整備		
病院開院後の整備	①既存東松戸病院施設を解体し、敷地内に駐車場(新規患者用等)を整備		①「超急性期病院」(高塚新田)用の附属施設の建設(保育所、看護師寮等) ②既存東松戸病院施設を解体し、敷地内に駐車場(新規患者用等)を整備		①現東松戸病院の既存建物及び土地の取り扱いについては要検討		
概算総事業費 [百万円]		上本郷	高塚新田	高塚新田	上本郷	千駄堀	上本郷
	委託費	360	255	454	113	511	113
	用地費	—	—	—	—	2,965	—
	代替用地費	—	—	—	—	—	—
	既存施設解体費	建設費に含む	400	400	建設費に含む	—	建設費に含む
	代替施設整備費	—	—	—	—	—	—
	埋蔵文化財調査費	—	—	—	—	120	—
	建設費	6,594	5,653	10,382	2,489	10,125	2,489
	外構整備費	—	200	200	81	1,885	81
	ライフライン負担金	—	—	—	—	210	—
	その他	794	396	724	396	719	396
小計	7,748	6,904	12,160	3,079	16,535	3,079	
	14,652		15,239		19,614		
1床当たりの面積 (㎡/床)	超急性期	上本郷：76㎡/床		高塚新田：75㎡/床		千駄堀：75㎡/床	
	日常支援	高塚新田：75㎡/床		上本郷：90㎡/床		上本郷：90㎡/床	
期間	工事着手までの期間	3年4ヶ月(40ヶ月)		3年4ヶ月(40ヶ月)		3年4ヶ月(40ヶ月)+α α：用地確保期間	
	工事着手から開院までの期間	4年8ヶ月(56ヶ月)		2年2ヶ月(26ヶ月)		2年11ヶ月(35ヶ月)	

※概算総事業費内には医療機器等の費用は含まれません。

※委託費には基本計画、地質調査、基本設計・実施設計、工事監理費が含まれます。(紙数全面移転案については、実施設計の一部及び工事費監理費が含まれます。)

※運動公園及び千駄堀の用地費については、面積・利便性などの観点から選定したもので、その価格は所有者等との協議を経たものではありません。

※日常支援病院の1床当たりの面積には健診部門面積を含みません。

※期間は、「超急性期病院」が開院するまでの期間を示します。

※現市立病院及び現東松戸病院の建物について、解体または病院施設として使用しなくなった時点で、企業債の一括償還が別途発生します。また、国・県の補助金についても返還が見込まれます。

※総事業費の低減においては、投資額を設定したプロポーザルなどにより実施する方法もあります。

※工事期間中は松戸市立病院および東松戸病院の診療は継続するが、移転期間を含む一定期間において多少の診療制限が行われることが予想されます。

4-1

構想1 運動公園全面移転案 超急性期病院(運動公園 600 床)・日常支援病院(高塚新田 200 床)				
前提条件	(※ 2 病院:800 床、延べ面積:約 60,000 m ²)			
整備概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 病院の機能を統合再編したうえ、新たな機能で分離する ・ 松戸市立病院の機能見直し後の病院を運動公園敷地内に配置する「超急性期病院」 ・ 東松戸病院の機能見直し後の病院を高塚新田に配置する「日常支援病院」 			
病院種別	工程	工期(ヶ月)	工事概要	課題・検討事項等
超急性期病院 (運動公園)	①	6	運動公園敷地内の既存運動施設を解体する。	・ 運動公園の一部廃止手続、代替公園施設の設置
		23	延べ面積 45,000 m ² 規模の新棟を運動公園敷地内に建設する。 (「超急性期病院」の建設)	
	②	1	松戸市立病院の機能を運動公園敷地内の新棟に移転する。 (「超急性期病院」開院)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転詳細計画の検討、移転前後端境期の診療制限の検討 ・ 移転前後期間における減収額の予測(シミュレーション)
	計	30		
日常支援病院 (高塚新田)	①'	3	高塚新田敷地内の現北側駐車場部分を新棟建設地として準備するため、当該駐車場と同規模以上の駐車場を敷地内に整備する。	・ 高塚新田に整備する駐車場の規模の検討
			東松戸病院の 6 号館 1 階の「調乳室及び職員食堂」を改修する。	
	③'	1	東松戸病院の訪問看護ステーションの機能を改修後のエリアに移転する。(訪問看護ステーション⇒6 号館 1 階)	
	④'	2	東松戸病院の訪問看護ステーションを解体する。	
	⑤'	17	延べ面積 15,000 m ² 規模の新棟を高塚新田敷地内に建設する。 (「日常支援病院」の建設)	・ 「日常支援病院」の診療機能の設定(現東松戸病院の機能見直し)⇒亜急性期、療養型、リハビリ
	⑥'	1	東松戸病院の機能を新棟に移転する。(「日常支援病院」開院)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転詳細計画の検討、移転前後端境期の診療制限の検討 ・ 移転前後期間における減収額の予測(シミュレーション)
	計	24		
	期間	30 (※)		「超急性期病院」「日常支援病院」開院後の整備内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東松戸病院に駐車場を整備する(既存施設解体) ・ 松戸市立病院の既存 1 号館を解体する

(※)「超急性期病院」開院までの期間を示す

構 想 1

工 程 表

項目		年・月	工事着手までの期間	1	2	3	4	5
工事着手前事項	運動施設代替用地確保・代替施設整備		$\alpha + \beta$ ヶ月					
	基本計画(発注期間含む)		13ヶ月					
	基本設計・実施設計(発注期間含む)		23ヶ月					
	工事発注期間		4ヶ月					
	合計期間		40 ヶ月 $+\alpha+\beta$					
超急性期病院(運動公園)	①	解体	工事着手までの期間 約3年4ヶ月(40ヶ月) $+\alpha$ (代替用地確保期間) $+\beta$ (代替施設整備期間)					
		準備・仮囲						
		杭工事						
		山止め・構台						
		掘削工事						
		基礎・B1躯体						
		地上・1~8F躯体						
	仕上・設備工事							
②	引越し(上本郷→運動公園)							
日常支援病院(高塚新田)	①'	準備工事	3年4ヶ月(40ヶ月) $+\alpha+\beta$					
		駐車場整備 2期に分ける		1期	2期			
	②'	既存2・6号館の一部改修						
	③'	既存1号館、訪問看護ステーションの移転						
	④'	既存1号館、訪問看護ステーション解体						
	⑤'	日常支援病院 新棟建設						
⑥'	引越し(同一敷地内)	24ヶ月						
「超急性期病院」開院までの期間			3 年 4 ヶ月(40ヶ月) $+\alpha+\beta$					
				2 年 6 ヶ月(30ヶ月)				
			5 年 10 ヶ月(70ヶ月) $+\alpha+\beta$					

▲ 超急性期病院開院

4-2

構想2 千駄堀全面移転案 超急性期病院(千駄堀 600 床)・日常支援病院(高塚新田 200 床)				
前提条件		(※ 2 病院:800 床、延べ面積:約 60,000 m ²)		
整備概要		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 病院の機能を統合再編したうえ、新たな機能で分離する ・ 松戸市立病院の機能見直し後の病院を千駄堀敷地内に配置する「超急性期病院」 ・ 東松戸病院の機能見直し後の病院を高塚新田に配置する「日常支援病院」 		
病院種別	工程	工期(ヶ月)	工事概要	課題・検討事項等
超急性期病院 (千駄堀)	①	6	千駄堀敷地内の埋蔵文化財調査後、取付道路設置・粗造成を行う。	・ 埋蔵文化財調査が必要
		30	延べ面積 45,000 m ² 規模の新棟を千駄堀敷地内に建設する。 (「超急性期病院」建設)	
	②	1	松戸市立病院の機能を千駄堀敷地内の新棟に移転する。 (「超急性期病院」開院)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転詳細計画の検討、移転前後端境期の診療制限の検討 ・ 移転前後期間における減収額の予測(シミュレーション)
	計	37		
日常支援病院 (高塚新田)	①'	3	高塚新田敷地内の現北側駐車場部分を新棟建設地として準備するため、当該駐車場と同規模以上の駐車場を敷地内に整備する。	・ 高塚新田に整備する駐車場の規模の検討
	②'		東松戸病院の 6 号館 1 階の「調乳室及び職員食堂」を改修する。	
	③'	1	東松戸病院の訪問看護ステーションの機能を改修後のエリアに移転する。(訪問看護ステーション⇒6 号館 1 階)	
	④'	2	東松戸病院の訪問看護ステーションを解体する。	
	⑤'	17	延べ面積 15,000 m ² 規模の新棟を高塚新田敷地内に建設する。 (「日常支援病院」建設)	・ 「日常支援病院」の診療機能の設定(現東松戸病院の機能見直し)⇒亜急性期、療養型、リハビリ
	⑥'	1	東松戸病院の機能を新棟に移転する。(「日常支援病院」開院)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転詳細計画の検討、移転前後端境期の診療制限の検討 ・ 移転前後期間における減収額の予測(シミュレーション)
	計	24		
	期間	37 (※)		「超急性期病院」「日常支援病院」開院後の整備内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東松戸病院に駐車場を整備する(既存施設解体) ・ 松戸市立病院の既存 1 号館を解体する

(※)「超急性期病院」開院までの期間を示す

構 想 2

工 程 表

項目		年・月	工事着手までの期間	1	2	3	4	5
工事着手前事項	建設用地確保		αヶ月					
	基本計画(発注期間含む)		13ヶ月					
	基本設計・実施設計(発注期間含む)		23ヶ月					
	工事発注期間		4ヶ月					
	合計期間		40ヶ月+α					
超急性期病院(千駄堀)	①	粗造成・取付道路	工事着手までの期間 約3年4ヶ月(40ヶ月)+α(用地確保)					
		準備・仮囲						
		杭工事						
		山止め・構台						
		掘削工事						
		基礎・B1躯体						
		地上・1~8F躯体						
		仕上・設備工事						
	外構工事							
②	引越し(上本郷→千駄堀)							
日常支援病院(高塚新田)	①'	準備工事	工事着手までの期間 約3年4ヶ月(40ヶ月)+α(用地確保)					
		駐車場整備 2期に分ける		1期	2期			
	②'	既存2・6号館の一部改修						
	③'	既存1号館、訪問看護ステーションの移転						
	④'	既存1号館、訪問看護ステーション解体						
	⑤'	日常支援病院 新棟建設						
⑥'	引越し(同一敷地内)							
「超急性期病院」開院までの期間			3年4ヶ月(40ヶ月)+α	3年1ヶ月(37ヶ月)			6年5ヶ月(77ヶ月)+α	

▲
超急性期病院開院

4-3

構想3 千駄堀全面移転案 超急性期病院(千駄堀 600 床)・日常支援病院(上本郷 200 床)				
前提条件 (※ 2 病院:800 床、延べ面積:約 65,000 m ²)				
整備概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 病院の機能を統合再編したうえ、新たな機能で分離する ・ 松戸市立病院の機能見直し後の病院を千駄堀敷地内に配置する「超急性期病院」 ・ 東松戸病院の機能見直し後の病院を上本郷に配置する「日常支援病院」 				
病院種別	工程	工期(ヶ月)	工事概要	課題・検討事項等
超急性期病院 (千駄堀)	①	6	千駄堀敷地内の埋蔵文化財調査後、取付道路設置・粗造成を行う。	・埋蔵文化財調査が必要
		30	延べ面積 45,000 m ² 規模の新棟を千駄堀敷地内に建設する。 (「超急性期病院」建設)	・「超急性期病院」の診療機能の設定(現松戸市立病院の機能見直し)⇒急性期病院
	②	1	松戸市立病院の機能を千駄堀敷地内の新棟に移転する。 (「超急性期病院」開院)	・移転詳細計画の検討、移転前後端境期の診療制限の検討 ・移転前後期間における減収額の予測(シミュレーション)
	計	37		
日常支援病院 (上本郷)	①'	9	松戸市立病院の既存 2~5 号館を改修する。(「日常支援病院」用に改修)	・「日常支援病院」の診療機能の設定(現東松戸病院の機能見直し)⇒日常支援医療機能
	②'		松戸市立病院の既存 1 号館を解体する。	
	③'	2	1 号館解体後埋戻し整地する。	
	④'	1	改修完了後、東松戸病院の機能を上本郷の 2~5 号館に移転する。 (「日常支援病院」開院)	・移転詳細計画の検討、移転前後端境期の診療制限の検討 ・移転前後期間における減収額の予測(シミュレーション)
	計	12		
	期間	37 (※)		

(※)「超急性期病院」開院までの期間を示す

構 想 3

工 程 表

項目		年・月	工事着手までの期間	1	2	3	4	5
工事着手前事項	建設用地確保		αヶ月					
	基本計画(発注期間含む)		13ヶ月					
	基本設計・実施設計(発注期間含む)		23ヶ月					
	工事発注期間		4ヶ月					
	合計期間		40ヶ月+α					
超急性期病院(千駄堀)	①	粗造成・取付道路	工事着手までの期間 約3年4ヶ月(40ヶ月)+α(用地確保)					
		準備・仮囲						
		杭工事						
		山止め・構台						
		掘削工事						
		基礎・B1躯体						
		地上・1~8F躯体						
		仕上・設備工事						
	外構工事							
②	引越し(上本郷→千駄堀)							
日常支援病院(上本郷)	①'	既存2・3・4・5号館改修						
	②'	既存1号館 解体						
	③'	アスベスト除去						
	④'	埋戻し・整地						
④'	引越し(高塚新田→上本郷)							
「超急性期病院」開院までの期間			3年4ヶ月(40ヶ月)+α	3年1ヶ月(37ヶ月)		6年5ヶ月(77ヶ月)+α		

▲ 超急性期病院開院

4-4

構想4 紙敷全面移転案 超急性期病院(紙敷 600 床)・日常支援病院(高塚新田 200 床)

前提条件 (※ 2 病院:800 床、延べ面積:約 60,000 m ²)				
整備概要				
工程	工期 (ヶ月)	工事概要	課題・検討事項等	
超急性期病院 (紙敷)	①	26	延べ面積 45,000 m ² 規模の新棟を紙敷 66 街区敷地内に建設する。 (「超急性期病院」建設)	
	②	1	松戸市立病院の機能を紙敷 66 街区敷地内の新棟に移転する。 (「超急性期病院」開院)	・移転詳細計画の検討、移転前後端境期の診療制限の検討 ・移転前後期間における減収額の予測(シミュレーション)
	計	27		
日常支援病院 (高塚新田)	①'	3	高塚新田敷地内の現北側駐車場部分を新棟建設地として準備するため、当該駐車場と同規模以上の駐車場を敷地内に整備する。	・高塚新田に整備する駐車場の規模の検討
	②'		東松戸病院の 6 号館 1 階の「調乳室及び職員食堂」を改修する。	
	③'	1	東松戸病院の訪問看護ステーションの機能を改修後のエリアに移転する。(訪問看護ステーション⇒6 号館 1 階)	
	④'	2	東松戸病院の訪問看護ステーションを解体する。	
	⑤'	17	延べ面積 15,000 m ² 規模の新棟を高塚新田敷地内に建設する。 (「日常支援病院」建設)	・「日常支援病院」の診療機能の設定(現東松戸病院の機能見直し)⇒亜急性期、療養型、リハビリ
	⑥'	1	東松戸病院の機能を新棟に移転する。(「日常支援病院」開院)	・移転詳細計画の検討、移転前後端境期の診療制限の検討 ・移転前後期間における減収額の予測(シミュレーション)
	計	24		
期間	27 (※)		「超急性期病院」「日常支援病院」開院後の整備内容 ・東松戸病院に駐車場を整備する(既存施設解体) ・松戸市立病院の既存 1 号館を解体する	

(※)「超急性期病院」開院までの期間を示す

構 想 4 工 程 表

項目		年・月	工事着手までの期間	1	2	3	4	5
工事着手前事項	基本計画(済)							
	基本設計(済)・実施設計(一部済)		10ヶ月					
	工事発注期間		4ヶ月					
	合計期間		14ヶ月					
超急性期病院(紙敷)	①	準備・仮囲	工事着手までの期間 約1年2ヶ月(14ヶ月)					
		山留め						
		杭工事						
		土工・掘削・構台						
		基礎・B3躯体						
		地上・1～11F躯体						
		仕上・設備工事						
	外構工事							
②	引越し(上本郷→紙敷)							
日常支援病院(高塚新田)	①	準備工事	工事着手までの期間 約1年2ヶ月(14ヶ月)					
		駐車場整備 2期に分ける		1期	2期			
	②	既存2・6号館の一部改修						
	③	既存1号館、訪問看護ステーションの移転						
	④	既存1号館、訪問看護ステーション解体						
	⑤	日常支援病院 新棟建設						
⑥	引越し(同一敷地内)							
「超急性期病院」開院までの期間			1年2ヶ月(14ヶ月)	2年3ヶ月(27ヶ月)				
			3年5ヶ月(41ヶ月)					

▲
超急性期病院開院